

令和5年度 小林市立東方中学校 自己評価及び学校関係者評価書

4段階評価（4：期待以上 3：ほぼ期待どおり 2：やや期待を下回る 1：改善を要する）

学校経営ビジョン	○ 学校教育目標を達成するために、第二次宮崎県教育基本計画及び小林市の教育基本方針を受け、本校の歴史と伝統、そして 保護者、地域、子どもの実態及びニーズを踏まえて、「学びたい」「学びたい」気持ちを高める小林教育の具現化を図る。 ○ 小中一貫教育を充実させ、学力向上を目指した授業改善、豊かな心の育成を目指した教育活動の推進、学校・家庭・地域が それぞれの教育的機能を発揮し、故郷への貢献を意識し、自立・感謝・貢献の学びの循環を確立することを旨とする。 「主体的に学び、夢や目標に向かって粘り強く探究する生徒の育成」～東方イノベーション～探究的活動を意識した教育活動を通して～
----------	--

項目	本年度の重点目標と目標達成のための手段	数値目標 赤が実績	結果の考察・分析及び改善策等	自己評価		関係者評価	学校関係者評価のコメント
				項目	総合		
知育	ICTを効果的に活用した、授業力の向上の推進 (授業公開・4つのチェックポイントを意識した授業づくり) 各種テストの分析と学力向上対策に基づく徹底した指導の実践(個別指導の充実) キャリア教育の充実と協働しながらの主体的学習の推進(職場・福祉体験の充実と英検等資格取得、読書活動の推進)	○一人1回研究授業 全員行った ○学びたい度～ 89% ○テスト平均～ 80% 以上 ○テスト平均～ 80% 以上 ○学年変化昨年度比アップ ○英検、漢検への積極的挑戦 実績9名 漢検6名 合格 英検1BA3級2年取得率 80% (7.8%) 英検1BA3級3年所得率 80% (6.0%) ○読書活動の推進～貸出冊数 36.8冊 ○学びたい度～ 89% ○将来の夢 90% 以上	○ 評価の結果や生徒の実績より本年度は「ICTを活用した探究的な授業の在り方」について研究を深めた。探究的な授業の明確化、ピクトグラムを用いた授業分析や授業づくり、相互授業参観に取り組んだ。生徒のレディネスをそろえることが大前提にある。そのため、前時にしっかりと見届けが必要で、1単位の中で思考する時間をしっかりと確保するなどの共通理解・共通実践が図られ、根拠強く思考できる生徒が増えた。その中で授業では自らの考えを伝えたり、協働作業したりする場において効果的にICTを活用する姿が見られた。 ○ 全国学力学習状況調査(4月実施3年生対象) では国語・数学においては全国・県平均を上回って、2年連続で結果については前期と比べて異なるが、地理平均や、やや一回の現状があった。みやざき学習状況調査(1年生対象)については、ほとんどの教科で県平均を上回ることができた。やや二極化傾向にあるため、個に応じた指導の必要性がある。 ○ キャリア教育の充実 に関しては各学年の体験学習等で外部講師を活用することで、生徒が新たな価値を見出すことができた。また、昨年度から始めた保護者による読み聞かせについては生徒には好評で多くの大人が生徒に関わることで大変な喜びを感じた。 ○ 漢字検定試験は45名受験し、5級5名、3級7名合格。英語検定試験は21名受験し5級5名、4級1名、3級3名合格。(1月受験の結果を除く)	3.6	3.3	3.3	○より一層の学力向上を期待します。 ○家庭での学習の取組をもう少し少し努力させたい。 ○資格は個人の財産なので多くの人に取得してほしい。 ○現代のニーズに沿った教育への取組がしっかりとされていると感じます。先生方の努力のたまものだと思います。 ●テストにおいても個人差が激しいように感じますので大変でしょうが個に応じた取組を期待します。 ●読書はいろいろな考え方や、知識を身に付けるために必要と思うので多く読んでほしい。 ●家で勉強部屋に入れたいという現状があり、勉強しているかわからないためスマホ等を使い真面目に勉強していない、勉強しているつもりになり身についていない。
	豊かな心の育成	○いじめ認知解消率100%、 100%解消 不登校ゼロ 0名 ○学びたい度～ 83% ○学校に行くのが楽しい 90% 以上 ○学校評価アンケート 93% 「立腹」 80% 以上 ○学びたい度～ 100% ○人の役に立ちたい 80% 以上	○ 道徳科の授業 において命の尊さ、いじめや人権に関する学習を計画的に行った。同じ集団で長生活しているため、配慮に欠ける行動であったり、自分の思いや考えを伝えなかつたりすることがある。今後はソーシャルスキルやコミュニケーション向上のために授業内容のさらなる工夫を図り、お互いを思いやり、高め合える集団になるよう支援を行う。 ○ スマートフォン の利用時間、SNSの活用等についてトラブル防止、時間の有効利用の観点から計画的な手立てを講じた。4月は保護者と生徒対象にした情報リテラシーに関する講座、7月はスマートフォンに関するトラブルの事例について学習した。家庭との連携を深めるとともに、小中学校とも連携をとり、学習との両立等について改善を図りたい。 ○ 人権尊重の観点から、校則の見直しを図り、生徒の要望、時代のそぐわないものについて改訂を行った。 ○ 本年度は不登校生徒はいなかった。個別の指導等の効果と考えられる。課題や学習面等心配から登校を渋る生徒が見られたが適宜個別に対応することで解消することができた。支援学習が在籍でやや配慮が必要な生徒については年度後半からは教室で授業を受ける回数も増え人数が見られている。 ○ 生徒会を中心としたA(あいさつ)B(ボランティア)C(コミュニケーション)活動についてはコロナ禍を乗り越え、これまでの活動に少しずつ戻ることができた。輪太鼓や花いっぱい運動等については予定通り実施でき、地域に貢献することができた。生徒のボランティア活動についてややマンネリ化が見られるので生徒の自主性を育む観点が必要である。	3.4	3.4	4.0	○先生方、保護者の協力の成果と思います。ご苦労様です。 ○いじめ、不登校がない学校は希望らしい。子どもたちが学校に行くのが楽しいと思う気持ちが長く続くことに期待している。 ○ボランティア活動や地域との交流についてもどんどんやしてほしい。 ○いじめ、不登校がないことは希望らしいことだと思います。これからも一人一人の声を傾け、寄り添ってほしいと思います。相手のことを思いやる子どもたちであってほしいと思います。 ○東方小・中学校に支援学校があることは意義は大きいと思う。今の人を思いやる気持ちをもつても大切にしてほしい。 ○花いっぱい運動の花の配付、プレゼントは地域の皆さんによるこんでもらいました。
	健康な体づくり	○体力テスト～ 全学年4種目以上、県平均以上、1年0 2年2 3年0 D E段階の割合 10% 以下 ○病欠～ R4 81名 R5 101名 ○虫歯(7名)等の治療率～ 71% 以上 ○2. 9% (4名未治療) ○各種避難訓練、健康度安全学習～ 3回 ○生徒アンケート満足度 80% 以上 ○合同運動会・駅伝競走大会 93% (合同運動会、部活動)	○ 体力テストを実施し、落ち込みが見られる科目等の改善するために、体育の授業では毎回体づくり運動を取り入れて改善を図っている。1・2年において県平均との差が大きいため、年間を通して手立てを講じて来年度の結果改善を図りたい。 ○ 避難訓練をこすす支援学校と合同で2回実施することができた。もしものために備えることができた。合同で実施することにより緊張感をもって取り組むことができた。職員についても合同で不審者対応訓練も実施しており両校での共通理解も図られている。 ○ 保健室において、外部講師を招いての薬物乱用防止教室、発達段階に応じた内容で性教育を各学年2時間実施することができた。 ○ 合同大運動会については児童生徒数減少、天候等を考慮し本年度から5月開催とした。大会当日の暑さ9月ほどではなく、体力的な心配をせず実施することができた。今後についても同様に支援学校とも連携しながら開催を模索していく。駅伝大会については支援学校と合同行事としたことで互いに応援しあいが実施できた。今後の継続しいとともに、保護者・地域の方が来校される方を増やす手立てを考えていきたい。	3.3	3.0	3.3	○子どもの成長期で指導も大変かと思いますが引き続き改善に向けての取組を期待します。 ○合同運動会も5月に開催したことで大変なこともあったかと思うが、生徒が体力的な心配(熱中症等)をせずによかった。お年寄りの方々にも涼しい時期に方々のことを考えようと思う。 ○体力テストをもとにした体づくりありがたいと思います。 ○運動も5月となり準備等が大変だったでしょうがよくがんばったと思います。 ○合同運動会の5月開催は大変いいことと思います。 ○合同運動会を団長を中心に生徒たちが真剣に全力で取組む姿を見せてもらいました。
食育の推進	○食育・保健だより 毎月発行 ○朝食摂取率100%～2～3名摂取していない ○給食食費ゼロ ほとんどない ○給食センターとの連携～ 積極的実施 ○年2回の弁当の日と給食感謝週間を 実施 ○「食の贈り物」 夏休み実施 ○学校評価アンケート 93% 「食育指導アンケート」90%	○ 8月にインフルエンザが流行した以外は基本的な対策を個人の判断でしっかり行うことである程度の流行を防ぐことができた。 ○ 食に関心をもち取り組む企画を予定通り実施することができたが、生徒と保護者間で評価にやや差がある現状があるので、双方への啓発などの必要がある。 ○ 給食を毎日提供していただいている栄養士から、食に関する講話を聞き、食づくりの大切さについて理解を深めることができた。食育の備忘録やメニューについて書きながら学ぶ、体験活動とおしる食料等への感謝を深められるとよい。	3.0	3.1	3.5	○良好かと思えます。継続した取組をお願いします。 ○給食について残食のないように努めていることは大変素晴らしいと思う。 ○食に関する講話等は食に対する関心が高まると思うので今後も続けてほしい。 ●弁当の日も大事だが何より朝ごはんをしっかりとることが大切。保護者に向けてもっとと情報発信してほしいと思う。	
信頼される学校づくり	○学校評価アンケート 97% 「学校の様子」 95% 以上 ○参観日等の保護者の出席率 85% 以上 4月16日 82% 11月8日 70% 12月2日 ○学校関係者評価～平均 3.5 以上 ○学校評価アンケート 96% 「地域の伝統・文化を継承する取組の実践」 95%	○ 学校の様子 は90%の保護者が伝わっていると肯定的であった。ホームページや様々な優待がタイムリーに保護者に届くようにさらに工夫して生徒のよさや学校の活動を伝えることで保護者とのラポートを強固なものにしたい。 ○ 参観日はじめ学校行事においては、ウィズコロナということから従来どおり実施することができた。参観日については内容を工夫したり、時期を変更するなどしたが、人手不足の昨今、多忙な保護者も多いことが考えられる。内容や時期の再考が必要である。 ○ 学校運営協議会は、5月、10月、2月の3回実施することができた。地域との連携や学校への期待等について情報交換や協議ができ学校経営の改善に資することができた。 ○ 県指定無形文化財である「東方輪太鼓踊り」は除開した上で、郷土芸能フェスティバルで披露した。保存会の方々と保護者が協力して着付けを行ったがかなりの努力や時間を要した。何らかの工夫が必要な時期にきている。一方で、道具の管理、修繕、購入については保存会がその役割を担ってほしいと考えている。	3.6	3.4	3.5	○先生方、保護者の理解、取組に感謝します。地域でできることは要請してください。(可能な限りの協力をします。) ○地域によっては子どもたちがいない地区も多いので学校新聞やPTA新聞の役割は大きいと思います。 ●生徒の数も少なくなってきたのでPTA活動も思い通りに進まなくなってきたので見直し等が必要だと思ふ。 役員等についても2年生が中心ではなく、全学年で決めたりすればもっとスムーズに行うことができるのではないかと。 ●どの取組もしっかりと進められていると素晴らしいと思ったが小学校の連携がうまくいかなかったように感じる。もう少し学校側が連携を取り合い一緒に進んで東方の子どもたちを育てていくという気持ちをもつてほしい。 ●インターネット、SNSを通しての犯罪被害に巻き込まれない、犯さない、身を守るための対策や自防的な必要性を感じています。具体的な取組で生徒を守ることにつなげてほしい。	

本年度は新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、学習活動や学校行事等についても制限なく実施でき、学校経営ビジョンを具現化するための重点目標(数値目標)については、ほとんどの項目において、ある程度満足できる成果を出すことができた。全体的な学力の向上、基本的な生活習慣の定着については成果がつつあるが、二極化傾向が見えてきており、個に応じた対応を更にする必要がある。
 そこで、「自分の力で羽ばたいていく子ども」を念頭に置き、予測困難で変化の激しい社会を自ら立ち生き抜くために、具体的には以下の3点を重点施策として取り組んでいく。
 ① キャリア教育の視点を大切にしながら、ICTを活用し「探究」を意識した授業実践を行い、思考力や表現力を高めるとともに、生徒の主体性・自主性を育み、学力向上を図る。
 ② ますます変化していく時代に柔軟に対応し生き抜くために、体験学習や外部講師の活用を進め、広い視野や考え方を育成し、望ましいキャリア発達を促す。
 ③ 引き続き「地域への貢献・感謝」「郷土への愛」の意識を一層高めるために、本校の伝統であるABC運動や輪太鼓踊り、花いっぱい運動を推進する。